記入例：退職・休職等により徴収方法を本人納付の普通徴収へ変更する場合

年度	1．現年度　2．新年度　3．両年度

新潟県中魚沼郡津南町長　殿

令和〇年　〇月　〇日提出

給与支払者（特別徴収義務者）

所在地	〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊〇〇番地	特別徴収義務者指定番号	〇〇〇〇〇〇〇
		宛名番号	〇〇〇〇〇〇〇
フリガナ	カブシキカイシャ　ツナンマチ	担当連絡者先 所属	給与担当
氏名又は名称	株式会社　津南町	氏名	津南　次郎
個人番号又は法人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	電話	025－〇〇〇－〇〇〇〇 内線（〇〇〇）

給与所得者			（ア）特別徴収税額（年税額）	（イ）徴収済額	（ウ）未徴収税額（ア）－（イ）	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
	フリガナ	ツナン　ハナコ						
	氏名	津南　花子						
	生年月日	昭和〇〇年　〇〇月　〇〇日						
	個人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇						
	受給者番号	〇〇〇〇〇〇〇	120,000 円	6 月から 9 月まで 40,000 円	10 月から 5 月まで 80,000 円	令和4 年 9 月 30 日	1 右から番号を記入 1．退職 2．転勤 3．休職・長期欠 4．死亡 5．支払少額・不定期 6．合併・解散 7．その他 （事由・理由）	3 右から番号を記入 1．特別徴収継続 2．一括徴収 3．普通徴収（本人納付）
	1月1日現在の住所	津南町大字下船渡〇〇〇番地						
	異動後の住所	※1月1日現在の住所と違う場合に記入してください。						

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）

特別徴収義務者指定番号	（新規）	法人番号	
所在地	〒	担当者連絡先 所属	
フリガナ		氏名	
氏名又は名称		電話	内線（　　）

新しい勤務先へは、月割額＿＿＿＿＿＿円を

□月分（翌月10日納入期限分）から

徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号

納入書の要否（新規の場合のみ記載）　□ 右から番号を記入　1．必要　2．不要

2．一括徴収の場合

理由　□ 右から番号を記入

1．異動が令和　年12月31日までで、一括徴収の申出があったため

2．異動が令和　年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日	徴収予定額（上記（ウ）と同額）
月　日	円

左記の一括徴収した税額は、

□月分（翌月10日納入期限分）で

納入します。

3．普通徴収の場合

理由　1 右から番号を

1．異動が令和　4　年12月31日までで、一括徴収の申出がないため

2．令和　年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため

3．死亡による退職であるため

※市町村記入欄